

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ菊名園	種別：認可保育所
代表者氏名：小西 美保	定員（利用人数）：90名
所在地：神奈川県横浜市港北区菊名6-3-20 IKUZUS KIKUNA	
TEL：045-421-3577	
ホームページ：http://www.gkids.co.jp	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年（平成29年）4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グローバルキッズ	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：6名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士：16名 看護師：1名
	栄養士：2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室 5室
	（設備等）調理室、事務室、更衣室、幼児用トイレ17個

## ③理念・基本方針

## ○企業理念

子どもたちの未来のために

## ○保育理念

豊かに「生きる力」を育てる

## ○園の保育目標

1. 思いやりのある子ども
2. 自分で考える子ども
3. 元気でたくましい子ども
4. 明るくのびのびした子ども

## ○園の保育方針

1. 子どもを中心に据え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にする
2. 子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育をする
3. 子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む。

④施設・事業所の特徴的な取組

一人ひとりの個性を大切に、子どもを中心とした保育を行っています。

子どもがのびやかに、安心して日々過ごしていけるよう、乳児クラスは、子どもたちのペースに合わせて、丁寧な保育を心がけます。

幼児クラスでは「学びを生み出す保育」を実践いたします。

「学び」は子どもたちの遊び、生活の中にあり、「どうして?」「やってみたい」「不思議だなあ」という子どもの発信を大切に、主体性を育ててまいります。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年7月1日（契約日） ～ 令和2年2月19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（            年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1)法人の規模を生かした効率的な経営と保育の質の確保を行っています

法人の保育理念「豊かに『生きる力』を育てる」を実現するため、経営基盤の安定化を図りつつ、保育ニーズの動向等を踏まえて、2019年4月には計画通り保育所22施設を新たに開設しました。これら施設の確実な運営のため、園としては「入所率の向上」、「職員の最適配置」、「職員の先行採用」、「職員の定着率の向上」、「保育の質の向上」などに取り組んでいます。

法人の規模を生かした取り組みとしては、法人本部専門職員による経営分析、現場をサポートする専門スタッフの配置、保育の質を確保するため、毎年一定数の保育士を東欧の保育先進国に研修に派遣するなどしています。

法人内の保育所間で保育用具の交換を行い、子どもたちの遊びをより豊かにするなど、運営面での工夫も見られます。

経営方針の決定、理念の策定、各種マニュアルの策定、研修計画の策定、人材確保などは法人本部が主導して実施していますが、毎月開催される全社会議で全園長に説明して情報共有するようにしています。

現場の運営は、各園の自主的な活動を尊重しており、地域の状況を踏まえて柔軟に対応できるようにしています。

法人の方針を受けて、「菊名園」では、園長、主任の指導のもと、職員会議やリーダー会議等の場を活用して職員が主体的に運営に参加し、保育の質の確保に取り組んでいます。

#### 2)大人への信頼感や安心感を育む保育を実施しています

0、1、2歳児については「担当制保育」を行っています。0歳から1対1で同じ保育者が、優しい語りかけの中で同じ手順と方法で食事・排泄・睡眠・着脱の世話をすることで大人への安心感や信頼感を育てています。1歳児には保育者との信頼関係を基に、身の回りのことを「自分でしようとする気持ち」が生まれるように働きかけ、2歳児には保育者に見守られながら、自分でできることの喜びを感じ、遊びや友達との関わりを広げられるように必要な手助けを行っています。

このように大人への信頼感や安心感を育む保育のプロセスは、「豊かな愛情をもって一人ひとりの気持ちをしっかりと受け止め、主体的な活動を育む」という園の保育方針に合致した具体的な取り組みであると言えます。幼児クラスでも、このような子ども一人ひとりの生活リズムを大切に、丁寧に関わるという「担当制保育」の考え方に基づいた保育により、子どもの穏やかで健やかな成長を支援しています。

### ◇改善を求められる点

#### 1)ボランティアの受け入れ等、地域社会との交流

ボランティアの受け入れや中学生の職場体験については、「全体的な計画」の中に位置づけがありますが、卒園児の来訪があるほかは受け入れが進んでいません。また、子どもが地域行事等に参加する機会も十分ではありません。地域社会との交流は、子どもの社会体験の場を広げ社会性を育てるために大切なプロセスとされています。

保育所が開設して間もないため、ボランティア受け入れ等の準備が進んでいない事情はあると思いますが、積極的な取り組みが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

認可保育所に移行してから2年が経ちました。  
保護者や地域の方からも支えていただきつつ「愛される園」を、目指して参りたく思っています。  
関係者からの様々なお意見を大切に受け止めて、今後もよりよい保育園運営に努めて参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり